

一、週間話題

① 原水禁世界大会開く

日本原水協主催の第十一回原水禁世界大会の国際会議は二十七日、東京で四日間の日程で開かれました。

会議には中国をはじめ四十一国、八国際団体から百五十人の外国代表が参加しましたが、今年注目のソ連の欠席で中ソ論争もなく、会議は昨年とうってかわってなごやかさの中でスムーズに進められました。

② 浩宮さまの夏休み

軽井沢でお父さんとお母さんとご一緒に夏休みをすごしていらっしゃる浩宮さま。最近では自転車乗りもすっかり上達され、お父さんと遠出されたり近所のお友だちと鬼ゴツしたり楽しい夏休みをお送っています。

③ 木曾のあばれみこし

長野西筑摩郡福島町に伝わたるみこしまくり。

別名木曾のあばれみこしと呼ばれ四百キロもあるみこしをなげたり、ころがしたり荒々しいお祭り。

当日は近郷近在の人達が押しかけ、大変なにぎわいをみせています。

そして真夏の夜の暑さを吹きとばす豪快なお祭りに心ゆくまで楽しんでいました。

一、きびしかった都民の審判

都 議 選

大量十七人の汚職議員を出し、都民の怒りに解散を余儀なくされた東京都議会。

新人の進出が目立つ中に旧議員も混つての「刷新選挙」。だが刷新とは裏腹に悪らつな選挙妨害が目立つ泥試合を演じました。

前議員の乱脈ぶりがたたってか、自民党は大きく後退。公明党は全員当選の二十三人、共産党も九人の議員を誕生させました。

社会党は第一党に躍進したとはいえ前途に水道料金の問題、公共料金の問題等々と難問を抱え、決して楽観をゆるさぬ状況となりました。